



「学校経営アクションプラン」を踏まえた授業改善 教職員全員で「重点的取組」を行いましょ

昨年度までは、学力向上に特化し、年度後半の半年間の改善サイクルを回す「改善プラン」に取り組んでいただきました。今年度から、1年間を通して改善サイクルを回す「学校経営アクションプラン」に基づく実践に取り組んでいただいています。今号では、教職員全員で「重点的取組」を行う際のポイントとメリット(利点)を紹介します。

「学校経営アクションプラン」とは

学力向上のみならず、各校が抱える課題の解決や特色ある学校づくりの実現に向けて、1年間を通した道しるべとなるプランです。

学校教育目標を達成させるために、現状を把握し、**課題が焦点化**されています。

課題の焦点化



ビジョン

自分の言葉で堂々と話す生徒を増やしたい。

「重点的取組」とは

焦点化された課題を解決するために、教職員全員で**優先的に取り組む内容**が「重点的取組」です。

重点的取組

①学力向上に向けた研究組織を充実させ、昨年度からの研究をより深めるよう、継続的な実践を行う。

【授業研究部会】

・授業の中で、自分の考えを話したり、書いたりするなど、アウトプットする機会を多く設定するための研究と提案の実施

優先的に取り組む内容



戦略

まずは、授業でアウトプットする機会を増やそう!

ポイント

「重点的取組」の内容を各学年や各教科等で言語化し、共有する。

「自分の考えをアウトプットする」のような**抽象的な言葉は、先生方一人一人で見え方に違いが生じる可能性**がありますね。学年会や教科会等で、取組の具体的な内容を確認し、共有することが大切です。



数学部会で「自分の考えをアウトプットする」姿を言語化して教員間で共有するイメージ

中1の数学では、まず、「**数学的な表現を使って説明すること**」から取り組んでいます。

各学年段階で**求められる力**を意識して説明させる学習に取り組んでいるんですね。系統的な取組を充実させれば、生徒も成長を実感しやすいですね!

中3の数学では、「**数学的な表現を使って論理的に説明すること**」を大切に取組んでいます。

3年生になるとそこまでできるんですね。中2の数学では、「**表、式、グラフなどを関連付けて説明すること**」が確実にできるようにしたいです。

このように言語化する際に、「**中学校(小学校)学習指導要領解説**」を参考にして、各**学年段階で求められる力**を確認しておくことが大切です。



メリット

児童生徒の資質・能力、教職員の力量、学校力が向上する。

①児童生徒に「**付けたい力**」を効果的に付けることができる。

子どもたちが本来持っている資質・能力は各学年や教科等で繰り返し発揮する中で高まっていきます。

②各教職員の「**個人の知**」が発揮され、「**組織の知**」が高まる。

組織全体の課題を解決するために、協議や情報交換を行うことで、個人も組織も成長します。



児童生徒と教職員が「この学校で学べてよかった!」という学校へ!